

☆飯田市出身の出版評論家・ノンフィクション作家

塩澤実信の仕事

——出版文化展 & 記念講演会



戦後日本の出版界を広く眺望し、出版文化の進展を 40 年にわたってみつめ続けてきた、飯田市出身の塩澤実信……。

このたび刊行著書 100 冊を超える出版界への業績を記念し、関連資料の展示会（終了）と記念講演を開催いたします。

日本の出版文化の先駆けとなった信州ゆかりの先人たちが、郷里飯田の出版人たちの横顔を広く紹介いたします。

◇記念講演会 第2回 4月12日（日）13:30~15:00

「日本の出版文化を先駆けた信州人たち」

*記念講演会は第3回も予定されております。

- 会場 飯田市立中央図書館 2階研修室
- 定員 120名（申込み先着順）
- 参加費 500円
- 申込み 図書館あて電話、またはFax、Eメールで直接お申込みください。
電話 0265-22-0706 Fax 0265-22-0235
Eメール iida@nanshin-lib.jp



◇記念展示会 2月28日（土）~3月26日（木）まで（終了）

図書館1階展示コーナーにて著書・資料を展示

- <主催>「塩澤実信の仕事」実行委員会
- <発起人>木下長志（実行委員長）・今村兼義・関谷邦彦・塚平清俊・角田俊實・森山和幸・平野瑛児（事務局）
- <共催>飯田市教育委員会（飯田市立図書館）

塩澤実信（しおざわ・みのぶ）

1930年飯田市生まれ。出版評論家、ノンフィクション作家。日本出版学会・日本ペンクラブ名誉会員。東京大学新聞研究所・日本ジャーナリスト専門学校講師を歴任。現在、マスコミ・ジャーナリズム評論の第一人者。また、かつて日本レコード大賞審査員として活躍。日本の歌謡・唱歌の研究者としても名高い。『戦後出版史』『出版大全』『ベストセラーの風景』、及び『愛唱歌の舞台を歩く』『昭和の流行歌物語』等、著書100余冊刊行。